

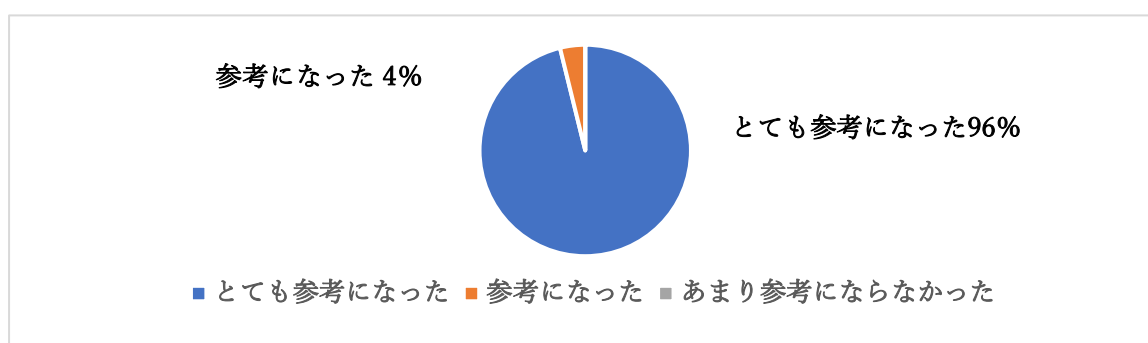
## 第 18 回 東陽圏域事業所交流会・勉強会 報告書

- 1、日 時： 令和 4 年 11 月 11 日（金） 18:30～20:00
- 2、開催方法： 集合形式
- 3、開催場所： 高田校区公民館
- 4、内 容： 講演『よりよく生きるための人生会議 ～わたしたちにできること～』  
講師 けいわ緩和ケアクリニック 院長 伊東 威 先生  
もしバナマイスター 金山 小百合 氏
- 5、参加者数： 52 名  
他 けいわ緩和クリニック 5 名（講師含む）  
大分市在宅医療・介護連携支援センター 4 名  
東陽地域包括支援センター 6 名

### 6、アンケート集計（回収率 100%）

問 1、伊東先生の講演内容はいかがでしたか？

とても参考になった(50)      参考になった(2)      あまり参考にならなかった(0)



- ・ 普段の日常の中で自分の人生について考えることなどないので、考える良い場となった。
- ・ 「人生会議」という言葉を初めて聞きました。現在は母親がALSであり、本人の意思を聞けないまま現在は人工呼吸器を付け、施設にいます。後悔の念があります。自分の家族には早めに会議を開きたいと思います。
- ・ 患者さんに対して、とても穏やかな口調で話され、信頼されている先生だと思いました。講話内容もすばらしくとても参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 大まかには人生会議について知ってはいたが、もう一步理解することができ、関わり方を考えていきたいと思った。
- ・ 伊東先生のお人柄なのか、終始穏やかな気持ちで、たくさんの気づきを得ることができました。ありがとうございました。「自分が穏やかにいることが大切」ということなので、日々修業です。この人には大切なこと、ささいなことも伝えたいと思える存在になれるようにがんばります。
- ・ 人生会議の意味が良く分かりました。専門職として、チームとして支援できればと思います。
- ・ 栄養方法を選択する際に、家族特に両親を大事に思っていることを再確認できました。自分より

両親優先なんだと思いました。

- ・伊東先生のお話はとってもわかりやすく、人生会議の大切さも分かりました。
- ・人生会議 早めに取り組むことが大切だと思いました。
- ・意思決定ができる早い段階から話し合っておくことが大切と思いました。
- ・自分が穏やかに過ごすとも周りも穏やかになる。心がけたいと思います。
- ・人生会議という言葉が今日の勉強会で初めて知り、介護士として利用者様の最期の過ごし方は考えたことはあったが、自分や家族の最期まで考えていなかったのが勉強になった。
- ・普段話ができない、介護の方と話しできる機会を持てて良かった。投薬的には分からない患者の状態を知ることができました。
- ・仕事で伊東先生と訪問先でお世話になっていますが、改めて今日も来れてよかったと思いました。自分も「おだやかに…」していきたいと思います。
- ・人生会議 ゆっくり考えてみたいと思いました。
- ・人生会議という今まで聞いたことのない内容について、新しく考える良い時間となりました。これから患者様と接していく際、一つ新しい考え方が持てるようになったかと思っています。ありがとうございました。
- ・ご利用者の意向を日々できる限り聞いていこうと思いました。
- ・エンディングノートは手元に持っているので一度ゆっくり開いてみようと思いました。
- ・なんとなく思っていた「最期の過ごし方」について自身の希望はある程度あるものの、これを近親者には伝えていないことを改めて感じました。
- ・人生会議の考え方について良く分かりました。
- ・人生会議は、自分自身もしていかなければならない大切なことだと思いました。
- ・先生のお人柄にほっとするものを感じました。患者様もそう感じると思います。ありがとうございます。
- ・他職種の方の意見が聞けてとても参考になりました。私は急性期の病院ですが、日頃から患者様の声に耳を傾けたくさん会話しながら、医療を提供できたらと思います。
- ・伊東先生の心穏やかになる話し方、とてもすてきだと思います。自分自身が穏やかな気持ちでいることの大切さに気づかされました。緩和ケアクリニックの皆様スタッフの方々を見習いたいと思います。
- ・人生会議について深く考える機会が持てて良かったです。人としてどうあるか、を大切にしたいなあと思いました。
- ・人生会議を身内でも行っていこうと思う。
- ・自宅での看取りには考えさせられることが多く感じました。
- ・相手の気持ちに寄り添うことや、信頼関係の重要性を再認識できた。
- ・人生会議について考えるよい機会になりました。
- ・自分が穏やかに過ごすことで相手の思いも穏やかになるのだと思いました。
- ・分かりやすかったです。圏域内に頼もしいDr. がいらっしやることを知り、安心しました。
- ・自分の人生について考える機会にもなり、良かったです。
- ・人生の導き方や接し方、多業種の意見が聞けてとても参考になりました。

- ・分かりやすく、勉強になりました。あっという間に1時間半が経ちました。まだお話が聞きたかったです。
- ・人生会議、初めて知る内容でした。生活の中、自身の中で特に最後の時をどの様に過ごすか考えることがなかった。子どもの頃に人生ゲームをしたが、その時の事を思い出した。
- ・先生の「患者さんに穏やかにすごしてもらいたいので、自らが穏やかな気持ちで過ごして人に接することを大切にしている」という言葉が、お人柄を表している様でした。この様な先生に、看取っていただきたいと患者さんも思うと思います。
- ・人生会議というものを詳しく知らなかったのでよかった。その時を選択するのに Dr. などの説明もいることもあるのかな（治療の選択）と思い、HPで人生会議したいと言ったらしてくれるのかなと思いました。Dr. の内でどのような認識があるのか。
- ・大変分かりやすかったです。
- ・実際の意思決定の体験も取り入れ、人生会議のステップを考えることができました。
- ・終末期のケアで自分のことは考えられるが、家族のこと、特に子どものことに、もしなったら、選択するのにとても長く時間が必要になるなど感じました。どの選択をしても、悲しみは変わらないが、少しでも考えてできる事を、望んでいることを一緒に考えることが、亡くなった後の心のよりどころになるのかなと感じています。利用者さんの最期にたずさわることがあれば、どういう支援のお手伝いができるのか…看取りの課題だと思います。
- ・様々な職種の方の話を聞いて参考になることも多く、大変勉強になりました。
- ・もっとこの話を早く聞いておけば親の看取りの時の気持ちも違ったのかな…と思いました。
- ・先生の信頼関係を築く方法を教えてもらった気がしました。
- ・改めて人生会議について考えて、本人家族のズレ、その中で日々働いて悩んだりするので、学びになりました。
- ・人生会議という言葉は初めて聞き、いざとなる前にきちんと決めておくことは大切だと思います。自分について決める分は良いですが、家族のことを決めるとなると悩みます。今後、ゆっくりと考えて行ければなと思いました。
- ・人生会議の大切さを知り、今後両親の介護のために、動いていきたい。
- ・とても参考になりました。

## 問2、金山看護師からのもしバナゲームについて ご意見、ご感想があればお書きください。

- ・はじめてもしバナゲームを知りました。楽しくて気楽に本人の気持ちを聞けるのではと思いました。活用したいです。
- ・実際にやってみたいと思いました。
- ・自分自身の言葉でどのように過ごしたいのか言葉にすることが難しいと思うが、カードがあることで、自分の思いに近いものを選択し、気持ちの整理や気づきが出るのではないかと考えた。
- ・ゲームの内容、方法などもっと詳しく知りたいと思いました。
- ・ぜひゲームが出来る機会をいただきたいです。
- ・もう少し詳しくゲームについて説明があればよかったと感じました。
- ・もしバナゲームという言葉は初めて聞きました。もう少し詳しく聞きたかったです。

- ・ 35 枚のカードの中で、人の価値観が色々違うと思った。全く私は選ばない内容が入っているから不思議に思う程でした。
- ・ 初めて聞いた言葉でした。
- ・ もしバナゲームをすることで、介護や看護と関わりがない方でも学ぶ機会を持てるのはとても良いことだと思った。
- ・ 気軽に今後のことを話すきっかけになる良いゲームだと思います。若い方にやってもらえれば、これからの介護を行う時に早く意思決定が行えそうだと思います。
- ・ 35 枚のカード、自分も大切なことを認識していこうと思いました。絶対、家族でもしてみます。
- ・ 取り組んでみたいと思った。
- ・ 実際にもしバナゲームをしてみたかった。自分が何のカードを選ぶのか見てみたかったです。
- ・ 聞き覚えのないゲームでしたので、新しく考え方が増え、こちらは大変参考になりました。
- ・ 内容をしっかり見ていきたいと思います。
- ・ 実際に体験して理解を深めたいと思いました。
- ・ 初めて聞いた話でしたが、興味深くうかがわせていただきました。
- ・ 初めて知りました。やってみたいと思いました。
- ・ おもしろいと思います。
- ・ 機会があれば、やってみたいと思いました。
- ・ 地域での活動ありがとうございます。大変業務の忙しい中でも、この活動を続けていただいている事に感謝です。
- ・ 一度、試してみたい気持ちになりました。話しにくい内容も、スムーズに話しができそうです。
- ・ その選択肢が常にあるとは限らないという言葉に気付かされました。今ある選択肢の中で選ぶようにしないといけない場合があると、改めて思いました。
- ・ 参加してみたいと思った。
- ・ 初めて知りました。これから、活用して行きたいと思います。
- ・ カードの内容を今後の相手の気持ちを聞きだす時に活用できたらと思います。
- ・ 初めて知りました。
- ・ 人生について、考えるため一度、行ってみたいと思いました。
- ・ 機会があればやってみたいと思います。
- ・ 利用者様としてみたいと思いました。
- ・ めくったカードで考えていくという点が良く考えられていると感じました。
- ・ とても有意義な手段だと思います。
- ・ ゲームをやってみたいと思いました。
- ・ 是非実際にやってみたいと思いました。
- ・ 初めて話をききました。サロン活動等の参考にさせていただきたいです。
- ・ 一度、やってみたいですね。
- ・ すごく興味があり、やってみたいと思いました。
- ・ 自分だったら何のカードを選ぶだろう？と思いながら聞いていました。
- ・ 自分も気づかない気持ちが引き出されるのかなと思いました。

- ・もしバナゲーム 色々な所で行なってもらいたいです。
- ・人生会議 もしバナゲームを一度してみたいなと思いました。
- ・もしバナゲームをやってみたいと思いました。
- ・やってみたい！！
- ・当院の勉強会で、ぜひ講演してもらいたいです。

### 問3、東陽包括からの報告について ご意見、ご感想があればお書きください。

- ・地域の方との交流の様子が聞けて良かったと思います。
- ・事例がたくさんあり、分かりやすかったです。
- ・色々な方のもしバナゲームの結果を知りたいと思いました。
- ・人生会議、参加したかったです！
- ・地域でもしバナゲームをすることはとても参考になると思った。
- ・実際の声を知ることができて良かった。もっと声を色々聞いてみたかったです。
- ・色々な考えがある。それをきちんと受け止めないといけないと思いました。
- ・体験談という実際の声を聞け、理解が深まりました。
- ・地域に出て様々な検証をされていてすごいなと思います。
- ・もしバナゲームを教えてください。
- ・人生会議やもしバナゲームを通しご自身の考え方が変わった人が多かったことは、大変気づきになったと思います。
- ・1つのカードでも色々な考え方があるのだということや、人生について考えるきっかけになるのだと思いました。
- ・参考になりました。自分と家族で解離があるところが興味深いです。
- ・1枚のカードでも、人それぞれ想いがあることが分かりました。
- ・個々の人生会議ができるあたり前の世の中になると、良いと思いました。
- ・地域の方といろいろなことをしていることがわかりました。
- ・地域の方々の意見をまとめて下さって参考になりました。
- ・もっと他の方の考えも聞いてみたいと思いました。
- ・地域の人々との交流の中でよくとらえられていると思います。
- ・もっと色々な対象に広げてデータをとっても良いかなと思いました。
- ・もしバナゲームの実践報告は興味深かった。
- ・地域の方が、どのように思いながら日々を暮らしているのか知る、いいきっかけだなあと思いました。自分の職場の地域でも交流会としてやってみたいです。
- ・事業所交流会でももしバナゲームをしたいです！
- ・もしバナゲームでの意見が、どんな感じで出たのが分かりやすかったです。
- ・講演からアンケートをまとめて、それぞれをグラフ化されており、とても参考になりました。何よりも「大切にされていることは人それぞれ違う」その通りだと思います。
- ・もしバナゲームで、気づかされることがあるんだと、すごく関心を持ちました。
- ・お世話になっております。

#### 問4、グループワークでの感想やもっと話したかったこと、気付いたことがありましたか？

- ・高齢者施設、看護師、保健師の方の話が聞けてためになりました。色々な想いがあり、時間があればもっと聞きたかったです。
- ・言葉を発することのできなくなる方の意思（思い）をくみ取るとはとても難しいと思ったが、ただ話をする（笑顔で）だけでも関わる意義があると思う。
- ・他職種の連携の大切さを改めて感じたことと、頼っていたたくさんの人と利用者さんの役に立ちたいと思いました。
- ・皆様の話を聞き、今後の業務に活かして行きたいと思う。
- ・様々な職種の方がいらして、お話もでき、今後の仕事にも活かせそうです。久々のグループワークもでき、よかったです。
- ・通所の方やケアマネの方とは接する機会もありますが、病院の方など普段接することがあまりない方の意見や思いも聞けてよかったです。
- ・認知症の方からの引き出しが、難しいです。コツがあればヘルパーさんから聞いてみたい。1対1の時間で信頼関係を作るのは難しそう。
- ・他の方の話聞くことで気付きが多くありました。
- ・さまざまな職種の方と話し合い、自分では考えていない意見などが聞くことができるととても勉強になり楽しかった。
- ・色々な職の方々と話す機会を持てて大変勉強になりました。積極的に色々な勉強会に出席してみたいと思います。
- ・病院で終末を迎える方、在宅で迎える方に関わった職種の人からの話。
- ・色々な職種の方のお話を聞けて楽しかったです。
- ・自身の考えなどをうまく言葉にできず、自分だけが新しい意見を手に入れる形になってしまったので、薬剤師としての意見をもう少し皆様にお伝えできたらと思いました。
- ・通所だと看取りに触れることが少ないなと感じました。
- ・医療関係の方ともう少し話をしてみたかったです。薬剤師さんへもっと相談してよいことも分かりました。
- ・認知症、そのボーダーラインの方々への接し方を伺う機会があり有益でした。
- ・色々な職種の方の意見が聞けて、とても参考になりました。
- ・利用者様に「よりそう」という事には、いろんな考え方思いがあるのだなと勉強になりました。
- ・よい意見が聞けました。有意義でした。
- ・人生会議がもっと良いイメージになり、気軽にできたらいいなと思いました。
- ・他職種連携の大切さを改めて感じました。違う視点からのご意見とても参考になりました。
- ・もう少しまとまった話ができればよかったと思う。話題が色々な所にとんだ感じがする。
- ・他職でも色々なお話が聞けてよかったです。それぞれの考え方の違いや、想いがありました。
- ・さまざまな他職種の方の話をきいて、色々な価値観があり、とても勉強になった。
- ・職種ごとに色々な意見が出た。連携の大切さを感じました。
- ・多職種の方々と短い時間でしたがとても勉強になりました。
- ・他の職種の方の話聞くことができよかったです。

- ・多職種の方のお話を聞くことができ大変参考になりました。
- ・他（多）職種の意見を大切にすると投げかけていただいたので話しやすかったです。
- ・みなさんの人生への考えも、もう少しかがいたかったです。
- ・他職種協働の中、意見交換がもっと必要と感じました。
- ・各職種、立場からの意見は貴重でした。1つの言葉、事柄に関しても感じ方が違うという事を分かることが大切だと思います。
- ・それぞれの分野の異なる方と話ができてよかった。フィールドは違うが、対象を支えるうえで共通点も多くあるなど感じました。
- ・他職種の意見が聞いてよかった。
- ・なかなか他事業所、違う業種の方と話をすることがないのでお話を聞いてよかったです。
- ・もっと色々な話を聞いてみたかったです。
- ・他のグループの発表を聞いていろんな意見があるな…と思いました。私はだまって話を聞いてくれる人が寄り添ってくれていると感じます。
- ・他の職種の方々のノウハウを聞かせてもらいとても良かった。参考になると感じました。
- ・多職種でのグループなので、自分が日頃見たり、感じたりしていることと全く違う視点からの言葉を聞いてよかったです。
- ・多職種の意見を聞き、大変勉強になりました。
- ・他職種からの意見はとても参考になります。
- ・いろいろな話を聞いて、良かったと思います。

**問5、今後 事業所交流会・勉強会で取り上げてほしい議題やその他のご意見、ご要望、ご感想などご記入ください。**

- ・フレイル予防について
- ・ありがとうございました。
- ・本日は、講義の方ありがとうございました。
- ・情報交換したいです。施設の空室が多くなったので。
- ・私は普段元気の良い利用者として接する機会が多いですが、人によって声のかけ方ひとつでもみんな反応が違います。認知症に関わらず人との接し方、話し方についても勉強したいなと思います。
- ・また勉強会に参加したいと思いました。ありがとうございました。
- ・又、交流会をしてほしいです。是非参加したいです。
- ・また是非こういった場に参加したいと感じております。引き続きよろしくお願いします。
- ・また相談します。
- ・今後も、様々な職種の方と交流できたらと思います。
- ・人生会議の症例報告等、聞きたいです。
- ・今後も交流会・勉強会を続けていただければなと思います。今日はありがとうございました。
- ・他職種で共有物があればと思います。
- ・コロナ渦での開催の準備大変だったと思います。センター長が「続けることの大切さ」とおっしゃっていましたが、その通りだと思います。顔の見える関係づくり大切だと思います。有難うござい

ます。

- ・久しぶりに集合研修ができて楽しかったです。今後ともよろしくお願いします。
- ・久しぶりの対面で多職種の方の意見を聞く事が出来ました。有難うございました。
- ・ありがとうございました。また参加したいです。
- ・多職種の方とお会いできると、勉強になります。また、お願いします。
- ・ヤングケアラーが気になります。

## 7、グループワーク

### 1グループ

司会	人生会議について講話を聞いて、率直な意見を聞かせてください。 一人ひとりの気持ちに寄り添うために、何を大切にしていますか。
施設長	方針を決めやすいように、メリット、デメリットを説明し、本人達の言葉を否定しないようにしている。様子の変化がある度に、本人家族と一緒に話し合いを持っている。最期迄、本人家族に寄り添っていけるように、何度でも話し合いを持つようにしている。
ヘルパー	ポリシーは「寄り添わない」です。それは「導く」という視点で、利用者に関わるようにしているということ。利用者個人と家族の方向性が違うことも多く、相手側に合わせたら、進まないことが多い。大切なことは利用者や家族と介護側の目的をどこにするか、「これを目標にしましょうね」という旗を立てること。その旗が立てば、そこに向かって「導く」ことができる。しかし、一緒に目標に向かって寄り添っているように利用者さんは思う。
医師	正しい治療をどこまでするか、どこに落としどころを持っていくのかが難しい。年齢や症状によっても違うが、医師から言われると言葉の重さがあり、それしかないように受け取られがちなので、スタッフが間に入った方が柔軟に受け止めてもらえるように思う。家族や生き残られる方の負担を軽くしてあげたいとも思う。
看護小規模 介護福祉士	看護小規模は、症状の重い利用者も多い。医師とも連携を取りながら、本人が望むことや気持ちに寄り添うように常に心掛けている。
介護支援専 門員	利用者も家族も、介護保険と医療保険の違いもよく理解できず、わからないことが多い中で、いろいろなことを決めていかないといけない状況が多い。利用者と家族の意向の違い、治療方針の違いもあり、主をどこに置くかが難しい。伝えることの大切さを感じる。医療も介護も説明不足なことも多いのではないかと思う。
ヘルパー	利用者を中心に、さまざまな職種が連携し、自分達だけではわからない情報を得ることで、更に利用者のことを知ることができると思う。

### 2グループ

司会	一人ひとりの気持ちに寄り添うために、何を大切にしていますか？ その人が何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？ 私は、軽度の人を担当しているため、本人の話を良く聞いて本人の思いを引き出せるようにしている。話しを聞く時に本人の大切にしていることを聞けるようにと関わっている。
----	--



介護支援専門員	会話を待つようにしている。初めて会った方にはなかなか話せない内容のこともあるので、自然な会話の中の何気ない言葉から拾っていく。その中で信頼関係が出来て話してくれるようになる。意思疎通が出来ない方もいるので、家族から聞き取るようにもしている。息子さん、娘さんで思いが違うなど感じることもある。家族の思いをすり合わせていくこと。
介護福祉士	レクリエーションの時間を設けずに、本人のしたいこと、要望を聞いて形にしていくようにしている。本人のしたいことを優先するようにしている。本人からの希望が出てこない時等には提案をし、選択肢を増やしていくように心がけている。
相談員	利用中は本人様の生活の一部を預かっているとの思いで関わるようにしている。本人様が自然な形で過ごせるようにしている。自分の話をするように心がけ、お互いの共通点等があると話しやすい。きちんと挨拶をして、利用時には必ず一言かけるようにしている。
介護福祉士	身体状況に合わせたサービス、本人の意欲・意思を確認するため個別で寄り添うようにしている。個別の生活歴をしっかりと理解するようにしている。利用される時には既に意思疎通が出来ない状況の方も多いため、それまでの情報を大切にしている。本人様と話している時の表情等も大切にしている。七夕の短冊を書く時に何も希望がないと言っていた方も話しをする中で、生まれた場所の話が出てきて「そこに行きたいですね。」との話しになり、生まれ故郷に行くことが目標となり、実際に行くことが出来た。柿もらった時には柿を剥いている姿を見るだけでもそれを楽しんでくれた人がいた。本人の自己肯定感を高めるような関わりをするようにしている。
病院事務長	お食事の面を大切にしている。最初は食べられていなかった方が食べられるようになられるとうれしい。食べることは大切。笑顔で受け入れてもらえると安心を与えることが出来ると思う。
医師	私も食事を取ることはとても大切だと思っている。診察室では家族も一緒にいるが、本人様に必ず話しを聞くようにしている。家族は横で聞いていても理解してくれる。本人様の話を遮る家族もいる。本人に質問し薬のこと等も聞くようにしている。きちんと「〇〇さん」と呼ぶようにしている。慣れてきて「〇〇ちゃん。」とかあだ名で呼ぶのは親しみがあるように感じるが、目上の方で人生の先輩。その方に敬意をもって関わるようにしている。時間をかけて関わることは大切。戻ってきた言葉に反応をする。

### 3グループ

司会	一人ひとりの気持ちに寄り添うために何を大切にしていますか。
医師	医療者としては、今以上に悪化しないように。
介護福祉士	信頼関係をもって行う。
介護福祉士	認知症の方の話はわかりづらいので、聞くことを大事にしている。本人の意見を家族や医師に確認している。
介護支援専門員	家族の要望を聞くことが多く、本人の意向を聞いてもらった上で家族の要望を大事にしている。

介護福祉士	終末期の方はいないが、認知症で不安な方が多いので、笑顔で接するようにしている。
相談員	自分が寄り添う時に相手に受け入れてもらえない時は、一人一人によって対応を変え、チームで話し合うようにしている。
医師	誰の気持ちに寄り添うかが難しい、最期は家族に寄り添うようになると思う。
介護福祉士	認知症が進むと、気持ちが頻繁に揺れ動くので、本人の意向を決めることは難しい。
介護福祉士	よい記憶ばかりとは限らないが、昔の事をよく話すのを聞くことは大事なことだと思う。外出した時に、忘れっぽくなっているが写真を撮っておくと覚えてくれることが多い。
介護福祉士	家族より、本人の意向の予測を聞くが、認知症の進行中の方は難しい。できる限りのフォローをすると、今後の信頼関係に繋がる。
相談員	帰宅願望がある時は、経験していくことで、少しずつ帰宅願望が少なくなっていく。
介護支援専門員	支援をしていく中で、手を貸し過ぎる事は注意している。

#### 4グループ

司会	一人ひとりの気持ちに寄り添うために何を大切にしていますか。
社会福祉士	家族の意向が一番。利用者と話をしていて目を少しそむけて振り返った瞬間に亡くなっていた。動くのが好きな方だったので、その方が満足した生活を送っていたのかが不安になった。
介護支援専門員	在宅であれば家族の意向が強い。本人の意向はあっても実際には出来ないことがある。両方とのすり合わせが難しい。
看護師	急変で運ばれることが多いので、家族との希望を聞くことが難しい（本人とも）。前もって話しをすることが本当に大切だと思う。家族はその時にならないと分からない。前もって決めていてもその時がきたら心が揺らぐ。病院では特に一刻を争うので本当に判断が難しい。
通所相談員	マッサージをすることが多いので痛みに寄り添うことをしている。利用中だけでは分からない家族関係もマッサージしながら話しをする。楽しみのある活動が出来るように心がけている。
司会	その人が何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？
社会福祉士	お迎えに行った時に家の中の物を見て何を大切にしているのか分かることがある。それからまた話しが出来るのではないかな。
ケアマネ	家族との関係性。よく話をするとということから分かることもあるのでとにかく話をする。個人個人と話しをする。いろいろな所と連携を取って家族に伝えることも役割かなと思う。

看護師	一人で帰れる人は良いが、大丈夫かなと思う人は目をかけて話しを聞いて包括につなげたりすることもある。
通所相談員	送迎時、ゆっくり話を出来る時に話しをする。得た情報は周りの人に共有する、共有ノートにあげる。
介護福祉士	通所を始めるにあたって、家族も不安になることが多い。なるべくはじめに家族の話を聞いて送迎時に家族とも話しをするようにする。

## 5グループ

司会	一人ひとりの気持ちに寄り添うために何を大切にしていますか？
社会福祉士	介護度も様々、限られた時間の中で関わりをもっていくことになるが、まずは利用者のことを考え、その立場に立って話をするように心がけています。なかなか一対一の話ができないときには、送迎の時間を使って話を聞いたりしています。
介護支援専門員	これまでの長い人生を歩んできた、年上目上の方であり敬う気持ちを持って対応をするようにしています。また、ケアマネは事業所とは違って、多くても月2回程度の訪問になるため、その訪問の時間を、笑顔でその方が楽しく濃い時間が過ごせるように気を付けて話をするようにしています。
小規模介護支援専門員	小規模多機能は、居宅のケアマネとは少し違って、24時間利用者の様子が見られるという点がメリットだと思います。認知症の方が主になる、まずは聞くに徹すること、重度の認知症の方に対しても聞く姿勢をもって接するようにしています。また、重度の認知症の方で本人に聞くことが難しい場合には、家族に話を聞くこともあります。
司会	予防で関わりを持つ段階から、大切なことを少しずつ拾い集めて、それを書き記していき、担当が代わっても、その方が重度になり聞くことが難しくなっても、それが伝わっていくように、連携していくことが大切だと思います。
社会福祉士	急性期の病院であり、一人の患者さんと関わりを持つ期間は短く、また重度や麻痺があることもあり、なかなか聞き取りをすることが難しいが、話を聞くときの姿勢や態度には気を付けて接しています。
行政	実際に業務の中で直接利用者に関わりを持つということが今はないが、自身の話にはなるが、自分の親の介護のときに、関わってくれている事業所の方がとても頼りになり、親身に関わりをもってもらった経験がありその時はとても助かりました。
ケアマネ	つい最近、担当している利用者が急変して救急搬送された。命の危機がせまったときに、病院から家族、ケアマネも一緒に呼ばれて、今後のその方の行先、自宅に戻るのか施設に入るのかなどについて、病院側、家族、ケアマネとで話をした。家族は、もう本人に帰ってきてもらっては困る、誰も見ることはできないと言うような様子だった。しかしケアマネはこれまでの本人の気持ちを聞いて、生活を見てきているため、どうしたものか悩んだ。結局、本人は亡くなられてしまったが、考えさせられる事例だった。
小規模介護支援専門員	本人と家族の意見の違いがあることはとても多いですよね。小規模で看取りをすることはあまりなく、施設入所になるパターンが多いが、先日、自宅で最期を迎えた方がいた。

	<p>本人は女性で要介護5。夫と2人暮らし。夫婦仲がとてよく、本人は夫のことを、夫は本人のことをとても想っているというご夫婦だった。ターミナルとなり、施設入所の話が出ていたときに、夫が絶対に施設には入れたくない、自分のそばで自分が看たいという意志があった。しかし、別に住む息子がかなり反対し、どうして自宅に帰すのかと、ケアマネとしてもかなりお叱りを受けた。しかし、夫のどうしてももの気持ちに寄り添い、また、本人も夫のことが大好きだという様子がよくわかっていたので、一日だけ、家で過ごしてみましよう、ということは何日か繰り返し、とうとう明日施設に入るという段階になったときに、自宅で亡くなられた。最終的には家族に感謝される結果にはなった。</p>
司会	その人が何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？
行政	答えにはならないが、行政として皆さんがつくったケアプランや情報を目にすることがよくある。趣味のことやこれまでの生い立ちなどをくわしく書かれてあるものを見ると、信頼関係を築いて話を聞いているんだなということがよく分かる。
社会福祉士	聞きとりをするきっかけとしては、面と向き合って座っているときよりも、送迎をしたり入浴介助をしたり、普段の何気ない関わり合いの中でその人の思いなどを聞くことが多いような気がします。そのような場面からヒントが見つかります。
病院相談員	その方の状態によって引き出すということは難しいこともあります。重度で話ができない方については、家族から聞いたりして関わるようにしています。
社会福祉士	以前、病院の相談員として勤めていたときがある。身寄りのないターミナルで意思表示のできない方について、今後どのように関わりを持ち、どこまですべきなのか（胃ろうをどうするのか等）、倫理委員会というものがあり検討会議が開かれていた。結局そこでも正解はないし、様々な職種から意見を出し合い検討していった。
司会	胃ろうをするかどうかの段階に、本人の意思を確認することは不可能であり、それまでに、もっと早い段階で、気持ちや本人の大切にしていることを聞いておくことが大事ですよ。

## 6 グループ

司会	皆さんが支援を行おうとする際には傾聴が基本となると思うが、では、専門職として「何を大切に傾聴していますか？」「傾聴以外に、どんなことを大切にしていますか？」
薬剤師	患者さんは基本的に自立している人ばかりなので、まずは、言っていることを否定せず受容した上で、提案するよう心掛けている。
介護支援専門員	想像力を働かせることを大切にしている。人を見るのが好きなので、その人の背景に何があるのか想像力を豊かにして話を聴き、例えばその人が好きなことが分かればそれをキッカケに、アプローチするようにしている。
介護福祉士	デイでは沢山の方がいらっしゃるの、会ったその時にゆっくり話を聴いて…ということができない。そこで、事前に資料などを職員皆で読み込み、その人となりや少しでも理解してから接するようしている。
老健相談員	まだ2年なので経験は浅いが、まずは、「あなたの話を、ちゃんと聴いていますよ」と

	<p>いう姿勢を見せる。ゆっくりと丁寧に話を聴くよう心掛け、相槌も相手に伝わるように打つよう、心掛けている。</p>
司会	<p>「利用者の望みを、各専門職が持ち寄って共有して、連携して、その人を支援していく」のが理想かと思うが、では、その本音を、いかにして引き出せるか？ どうすればその人の思いをキャッチすることができると思いますか？ 専門職それぞれの立場からご発言ください。</p>
薬剤師	<p>患者・利用者とは接するのは薬の受け渡しの時くらいだが、その時耳にした言葉は書き留めるようにしている。 窓口に立つ人間がいつも同じとは限らないので、後から薬局内で共有するようにはしている。</p>
介護支援専門員	<p>私の場合は敢えてメモ等はせず傾聴に徹する。気掛かりがあれば、そこはかとなく訊いてみたり、何気ないふりをして、様子を見に立ち寄ってみたりする。</p>
老健相談員	<p>限られた入所期間の中、頻繁に入所者の方と関わる訳ではない。実際に介護を行っている現場の方がキャッチして、そこから情報をもらっている。</p>
生活相談員	<p>私は毎日検温等で各居室を回っているので、その人の様子の変化や経過が分かる。要介護になり、医療処置が必要になれば退所いただかないといけないので、そのような可能性が見えてきた場合には、ご家族とケアマネに伝え、次の施設を探してもらうようにしている。</p>
介護福祉士	<p>デイに通って来られる方は、入浴時に本音をもらすということがよくあるので、心掛けて聴いている。ターミナルで気持ちがしっかりしているような方から発せられた言葉は、訪看などに伝えて、連携を図るようにしている。</p>

## 7グループ

司会	<p>一人ひとりの気持ちに寄り添うために何を大切にしていますか？</p>
介護支援専門員 A	<p>本人の希望、キーパーソンの希望、両方を考慮する。しかし高齢や認知症で判断力が十分ではないため、希望したからといってできるものではない。命の危険があるか、ないかも重要。</p>
介護福祉士	<p>生活様式やどのように接するとよいのかなど、その人を知ること。お互いを知ることにより安心感が生まれる。</p>
ヘルパー	<p>会話を大切にしている。家族への感謝を言葉にできない内気な方もいる、家族への本音などを引き出せるようにしている。</p>
薬剤師	<p>普段の生活の様子。医師には言えないことを聞き出し、アドバイスできるようにしている。</p>
介護支援専門員 B	<p>認知症の方が多いので、言葉や表情を大切にしている。</p>
司会	<p>その人が、何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？</p>

介護福祉士	認知症の方から引き出すのは難しい。改まってではなく、送迎時などの何気ない会話の中から、その方の思いを拾い上げる。
司会	会話から話を膨らませ、引き出すことはできますか？
介護支援専門員 A	「自宅にいたい」と言われている方の思いといっても、「自宅にいたい」それしか言わない。
介護福祉士	施設に行きたいと言っている人も、それが本心ではないと思うが、本人の希望を聞き出すのは難しい。(認知症や高齢で判断できないケースが多い。)
介護支援専門員 B	時代、世代によって考え方が違う。80 歳以上は家が良い。70 歳以下は終活という考え方が浸透してきている。
司会	本人の薬の服用に関しての気持ちにはどのように対応していますか？
薬剤師	薬剤師としては薬の一包化などで服薬しやすいように対応したりしている。
参加者一同	一包化することで服薬支援がスムーズにできる。
司会	一包化することで支援する側として服薬管理しやすくなるが、飲みたくない薬など本人の気持ちに対してはどのように対応していますか？
薬剤師	絶対に外せない薬などもあるので、難しい部分もある。

## 8グループ

司会	一人ひとりの気持ちに寄り添うために何を大切にしていますか。講話を聞いて、人生会議について考えたことなどがあればお聞きできればと思います。
病院相談員	なかなか考える機会はないので地域に発信していくことが大切だと思います。問1については、本人の意向を大切にしたいというのが本心。急性期対応なので、短時間で状況が変わるので、本人意向が一番ではあるが、介護者である家族の意向も大切。難しいと感じる点。
通所相談員	自分のことで(人生会議について)考えることはないが、家族の事など事前に話すことは大切。仕事としてターミナルの対応はするが、自分のことは考えることがなかったことに気付かされた。家族のこととなると難しい。問1については介護士としては言葉の中ですぐに答えられないときは逆に「何を今がしたいですか？」とたずねてみる。例)「入浴できますか？」という問いに「入浴したいですか？身体を拭いて欲しいですか？」と答え易いように聞き取るように心がけている。
看護師	人生会議、時々仕事でたずさわってきたが、限られた時間で在宅に戻ることも多く、思いを聞き取ることや考えるきっかけがなかなか持てなかった。問1については本も心配なことがあると聞きたいという思いが強いが、その場ですぐに回答できないときは、他職種に確認して「きちんと答えますよ」と一言添えるようにしている。
薬剤師	問1については、業務上薬を処方したり分けたりすることが多く、患者さん等と関わる機

	<p>会は少ないが、人生会議という面で考えて関わっていききたい。ぜひもしバナゲームを試してみたいと思った。もう少し相手の思いに沿って気持ちを考える機会になると思う。</p>
司会	<p>例えば、患者さんや利用者さんから医師へは相談しにくいから、薬剤師さんへ相談したいといった相談が直接あることはありますか？</p>
薬剤師	<p>本人家族よりターミナル期になると、直接の相談は少ない。看護師を介しての相談が多い。麻薬の取り扱い方などもなかなか説明や確認する機会が少ないと感じている。もう少し関われる機会を持てるように考えていききたい。例えば、本人が麻薬の管理をしていてターミナルになった時に家族は管理方法を全く知らないことがあった。日頃から家族内でも共有できていないことに気付いたので、その支援も必要だと感じた。</p>
介護支援専門員	<p>ターミナルケアの時は短時間で家族はたくさんの選択を迫られることがあるので、ケアマネとして、本人・家族の思いが何なのかゆっくり確認できるように余裕を持って接していきたい。</p>
司会	<p>その人が、何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？</p>
行政	<p>あまり関わる機会はないが、本人が最期を選択することは大切だと思うが、それぞれ対応が違うので、医療・介護色んな面から提案することで選択できるように支援していく必要があると思う。サービスや支援について知らない人が多いと思う。選択肢ができるだけ増えるように、支援の提案をしていくことが大切だと思う。</p>
介護支援専門員	<p>担当者会議などの場で話をする時は、本人は弱い立場のような雰囲気のことが多いので、自分が把握している中で本人の強みの部分から話を始めてみるようにしている。家族に少し元気だった頃を思い出してもらえるようにする。薬剤師さんの話をあまり聞く機会がないので、こういう場でもっと薬剤師さんへも相談していいんだということに気が付く事が出来てよかったと思う。</p>
看護師	<p>バイタル測定など対面で接することは多いが、横に座って話かけをすることで、距離感を近づけることもできるが、それを望まない方もいるので、距離感は気を付けて支援を行っている。</p>
司会	<p>皆さんがお話してくださったように、その人が何を大切にしているのか、そのことを考えること自体がとても大切なことですよね。専門職として、今回の気づきを活かして今後の他職種連携や支援に活かしていければと思います、</p>

## 9グループ

司会	<p>人生会議について話を聴いて、率直な意見を聞かせてください。</p>
生活相談員	<p>話題になっているが、身内と話をしていない。避けて通ってきたかんじ。もしバナゲームがあることを知ったので、人生会議をやってみたいと思った。身近に感じる事ができた。</p>
介護支援専門員	<p>初めて人生会議を知った。実際話となると、どうしても躊躇してしまう。現場でいざという時に家族は迷う。意思決定支援を本人、家族、医師での話し合いを行いたい。</p>
看護師	<p>現場で迷われる家族が多い。必要性は感じているが、きっかけがあれば話し合いができ</p>

	るのであろうが、そのきっかけを私たちが作っていければ人生会議ができそうだと思う。
司会	今までにそのような場面はあった？
看護師	意思決定支援の時は先生、家族、本人を集めて話し合いをしたこともある。人生会議はあってもいいのかなという場面はあった。
薬剤師	介入する場合は、家族が薬をもらいに来た時にどんな話をするかは触れられないが、人生会議を伝えていけたらと思う。
保健師	初めて聞いた。いざ人生会議となると考えてしまう。身内の最期についての話し合いについては抵抗を感じてしまう。
司会	一人一人の気持ちに寄り添うために気を付けていること、心がけていることはありますか。
介護支援専門員	相手の話をゆっくり傾聴し、話しやすい環境づくりに気を付けている。なかなか本人が話しづらい、病気でキツイときは寄り添いながら、声掛けをしながら顔色見ながらかわりを持ちながら行っている。
通所相談員	元気な方が多いので、病気（重い）を持っている人が少ない。相手の話を聴くときは五感を大事にしながら話を聴いていくようにしている。その場を作るというか感じながら作り上げていくことを大事にしている。
看護師	在宅に訪問時は家の中にある物やペットなどをきっかけに話をしている。相手の背景を察知して見極めている。
司会	薬局にいられた方に薬の説明以外に体調のこと等聞いてくる方はいますか？
薬剤師	そんな相談もある。限られた時間の中に、ゆっくりと話を聴くことは難しいが、否定はしないで話したいことをゆっくり話してもらうことにしている。思っていることがあっても言わないほうがいいと思うことがある。なぜなら、本人にとってもう決まっていることがあるので、いいところを見つけ出しそこを否定しないで掘り下げていき、短い時間でその人のことを知ることが出来るかと思っている。
司会	利用者、家族の希望として、家族の時間を大切にしたいので薬の形状、飲む時間、坐薬の事など手間がかかってしまうので軽減できるような希望があった時はどのように対応していますか。
薬剤師	薬に対しての質問の電話がある。その都度対応している。
看護師	利用者さんがいつの間にか薬剤師さんに電話をして聞いているケースが多々ある。看護師さんは忙しいから薬剤師さんに聞いたわという人もいる。
薬剤師	両極端なのですが、看護師さんにしか聞かない方もいる。
司会	予防の面になりますが、健康診断やガン検診を通して気をつけていることはありますか？



保健師	保健指導や健康相談になるが、伝えたいことは伝えるが、伝えたことに対して相手がどう思うか、そうして行動ができないのかと思うことはある。相手の興味の持てる話をし、関わりのあるタイミングを考えて話を進めていく。受け入れて入れてもらえる雰囲気、親しみやすさをだしていきたい。なにか悩んでいるなど思ったときは、多種職で連携をとりながら共有し接していく。
司会	看護師さんはどんな関わりがありますか？
看護師	事例にもよるが、難病、小児の慢性期は保健師の力を借りないとアプローチができない。
保健師	医療的ケアが必要な子供がいるときは、担当者会議に参加したり、ケアの状況によっては同じ看護職で共有したりしている。
司会	その人が何を大切にしているか、どうすれば引き出せますか？
生活相談員	面談力と質問力をつけていく。質問にたいしてどんな答えが返ってくるか、返ってきた答えに対してどんな質問でよりその言葉を深められるか、利用者の大切なものに近づけるように質問を返している。利用者は言葉、言葉や単語、単語でかえってくる。それを含めていくための質問をしないと、独りよがりの言葉になる。みんなの言葉の解釈が違うので、その人がより何を大切にしているかに近づけるように質問を重ねて上手く引き出す。本人、家族の意向を職員にきちんと伝え、職員と共有し対応をしている。
看護師	本来なら外出もままならない利用者がいたが、利用者がデイサービスに行き、ジュースを飲むことを楽しみにしていた。ジュースはどこでもあるけれど、デイサービスに行くと、他の利用者と一緒に飲みたいというその気持ちを尊重する。デイサービスの職員が大切な言葉を引き出してもらえていたから利用者も安心していくことが出来ていたのだと思っている。
介護支援専門員	現在ターミナルの利用者がいる。治療もないので利用者が自宅へ帰り普通の生活に戻りたいと言う想いを大切に希望通り自宅へ帰る。戻ると早速夫婦喧嘩を始めるが、それが日常。主治医や看護師も驚くが利用者、家族にとってはそれが普通の生活。いつもの生活に戻れた一瞬を見られた。この生活が続けられるように、家族の希望に寄り添いながら支援していきたい。
看護師	本人のそのままの言葉を受け止める。引き出さなくてもこうありたいと言う気持ちは、自分から出てくると思う。

## 10グループ

司会	このグループで知的障害事業所、老人介護施設、保健所の子育て課、訪問看護ステーション、居宅支援事業所と多種職になりますが、みなさんは人生会議について、今までどの様に考えていましたか？
保健師	業務内容は母子のことであって、高齢者の話とは違うと思っていた。でも、気持ちに寄り添うことは共通で、例えば子供を産むか、産まないのか、育てるのか、育てないのか本人に寄り添い意思を聞く、関係者の中でどう支援すればいいのかを考え共有するようにしている。そう考えると言葉は違うが、日々人生会議をしているんだなあと思う。
司会	高齢者でも子育て世代でも共通の捉え方があり、私たちにもとても新鮮に感じます。障

	害事業所ではどうですか？
障害介護士	人生会議については、考えたことがない。障害を持った人は、今どうするかを考えている。私たちは、今どう接したらいいのかを考えている。特に知的障害施設であるので、本人や家族にとって、大切にしていることはできることを増やすこと。やっぱり今（現在）を考えていることが多い。重度障害者から大切にしていることを引き出すのは難しい。余命が短い人に聞いても本人はピンときていないので、キーパーソンとの話になってしまう。
施設センター長	介護施設も同じで、施設入所の認知症の方から大切にしていることを引き出すのは難しい。入所前のサマリーの確認しかない。家族の想いを聞くことになるが、それだと先ほど伊東先生の「経口摂取か胃ろうか」のように本人と家族の思いのズレがあると思う。そのギャップをどう埋めればいいのかと思う。だが、本人が笑える瞬間、笑顔になる瞬間がある。そこは介護職が見落とさないようにして、本人はこうしたいんだなと考えている。
司会	言葉ではなくで、表情から汲み取ることもあるんですね。 ケアマネや訪問看護として、意思決定ができる状態の時に本人が大切にしていたことを施設側に伝えることはありますか？
介護支援専門員	情報提供シートの内容以外に伝えることがなかったので、利用者に関わっているなかで得た情報を伝えられるとよいと思う。私もケアマネの前は施設職員であったので、よく分かるのだが、できていないのが現状。入所すると手から離れてしまう。
司会	今までの話を聞いて看護師としてはどうですか？
看護師	本人の気持ちに寄り添うために、今までの人生の話を聞くことを大切にしている。人生のことを聞いて、本人に今後何をしたいかと聞く。本人に近い人に何がしたいかを聞く。本人に近い人は本人が信頼している人のこと。今は病院でも目標を持って入院してくる人が多くなっている。終活を考えて、退院したらこれがしたいと話をしている。それだけ本人家族に知識と情報は多くなっているのではないかと思う。
施設センター長	それでも本人の本心と建前があって、ひとつ間違えると違う方向に進んでしまうこともある。本人の気持ちよりも家族がやすらげる方向に向かってしまう。
保健師	大切なことの引出し方は、母親、本人が知らない（分からない）ことが多いので、情報提供をして選択肢を増やすようにしている。そうすることで本人が本当に大切にしていることを引き出しやすいのかもしれない。
司会	本人と家族の思いにギャップがあるのはよく分かります。本人は家族に迷惑をかけたくないから施設に入りたいと言うが、最期は自宅で家族に看取ってほしいと話す。そのように思いが揺れ動くこともあると思いますが、その点では本当に大切にしていることってどこなんだろうと考えてしまいますが。
看護師	大切にしていることを引き出すことは、本当に難しい。人生のことをゆっくり聞いて、日常的にお話をして人生のこと、大切なことを引き出せればいい。
司会	今回、その人の思いがそれぞれであるように、みなさんもそれぞれの思いがあり、多職種で共有できたのではないかと思います。

## グループ発表

<p>介護のみかた 秦 氏</p>	<p>1の問について、僕の答えは「寄り添わない」ということです。 相手の気持ちって、多分わかることってない。寄り添っていたら進まないことが多い。寄り添わないって何をするかというと、「導く」という視点で利用者に関わるようにしています。 多分利用者さんよりも、私たちがとる態度を「こうしたほうがいいな」とかは思いつくと思います。でもそれを相手に合わせていたら進まないことがすごく多い。だったら、利用者さんは「寄り添ってもらっている」と思っているけれど、実はこっちが「導いている」というような状況がどうやったらできるかというのを日々考えてやっています。その時に、一番大切なものは何かというと、家族と利用者と介護側の目的をどこにするか、今回の介護では「これを目標にしましょうね」という旗を立てたい。その旗が立てば、そこに向かっていくのが、「導いているけれども一緒に向かっていって寄り添っている」みたいな。 なので、答えとしては「寄り添うのではなく導く。でも相手は寄り添っていると思うように導く」ということです。</p>
<p>けいわ緩和 クリニック 金山看護師</p>	<p>気持ちに寄り添う主語を誰にするかというところですよ。ありがとうございました。</p>
<p>九州調剤 山口 氏</p>	<p>まだ在宅のほうにはなかなか出向いていくことがなくてケースというのはないのですが、薬局に来られた患者さんの対応としては、どうやって情報を聞き出すかということです。 月1回くらいしか来られない患者さんもいるので、その時の少しずつの情報を共有し患者さんとのコミュニケーションを通して、そこから話を広げていって患者さんとの合意形成をしながら日々仕事をしているところです。</p>
<p>けいわ緩和 クリニック 稲生師長</p>	<p>限られた時間の中で患者さんや家族との会話、制限された中で「どんなものを大事にされているか」とか、お薬一つにしても「飲みたくない理由は何なのか」とか、「飲みにくい理由が何なのか」ということも業務の中で聞かれていて、限られている時間だからこそ苦労されていることもあるのだということが分かりました。 これから薬剤師さんにそのような情報をお渡しすると、より患者さんと関わり易いのだろうなということが見えました。</p>
<p>陽だまりの郷 相良 氏</p>	<p>先程のグループワークの中で話をしている、包括さんは三か月に一回、元気な方が主で、会ってその中で気持ちを聞いていく。小規模多機能はどうしても重度認知症になってから利用される方がとても多いので、来たときに私たちが気持ちを伺うことができないことがとても多いです。 ケアマネとして、とてもアセスメントしにくいのですが、その中でとても助けられているのが、スタッフが普段送迎の中やお風呂の中で1対1で関わっているときに、拾い上げてくれる情報を通して、「この人はこういうことを大事にしているんだな」というのを知り得ることができます。やっぱり連携って大事だなというのを、またグループワークを通して、今日改めて思いました。</p>
<p>けいわ緩和 クリニック 稲生師長</p>	<p>他のグループでも、日々関わっている中で「これが大好き」とか「これがしたい」とかいうことがなかなか表現できないので、嬉しそう顔をしているとか、何に熱中しているか等ということを引きかけに、これを大事にしている方なんだなというのを汲み取っているという意見もありました。</p>

<p>駒田皮膚科 クリニック 駒田先生</p>	<p>私自身の仕事は、皮膚科で、実は医療のなかでもかなり急性期で、患者さんと関わる時間というのはなかなかないです。来た患者さんをいかに良い状態にしてお返すかというのが第一ですので、実はこういう話をする機会はあまりなくて、大変私自身が勉強になりました。</p> <p>だから私が医療者として申し上げる意見というのはあまりないのですが、これをわが身で振り返ったときに、30年ほど前に早い時期に母親を癌で亡くして、しかもいきなりステージⅣという宣告を受けたことが始まりでした。じゃあその時に30年前で、本人に癌の宣告するわけにもいきませんでした。状況が今はかなり変わってきているので、そういう意味ではこういうことを考える時代になっているのだなという。ただ今でも本人があまり宣告してもらいたくないという方もいたりしますよね。</p> <p>そういう中で、私が誰かに寄り添ったりしたのかと考えたら、結局母のそばで介護している父親に寄り添っていたのだと思います。</p> <p>本人はもうかなり末期の状態。私も実は遠く離れたところ、ここで医者をしていた。だから、そばにいる父親のやりたいことをなるべくさせてあげて、ただしやりすぎて医療側に迷惑をかけないようにブレーキは私がかけてあげるということを考えながら2年間ほどの闘病生活を一緒にしたことを思い出しました。</p> <p>今後わが身になったときにどうなるのでしょうか、そんなことを今日改めて考えさせていただいて、大変意味のある会に参加させていただいてありがたいと思いました。意見というほどではありませんが。</p>
<p>けいわ緩和 クリニック 稲生師長</p>	<p>地域の方と、もしバナゲームの中で何を大事にされているかということを発表してもらったときに、自分は今までの人生の中でどういったことを経験したかによって、なぜそれが大事なのかというのも人それぞれでした。</p> <p>例えば、「最期は家で死にたい」というカードを選んだ一人の男性は、最期を見るのは嫁の努めだとか、見てくれる人がいるから、「家で俺はもう自分の思ったように最期を迎えたい」という方もいました。</p> <p>一方で、女性の方で同じカードを選んだ方は、「今まで自分が地域的にも、嫁だから、義理のお父さん、お母さんを看取ってきて、大変さも知っている。本当は家で死にたいと思っているけど、娘たちに迷惑をかけることを考えるとそれが本当にいいことかな。でも、家で死にたいと思っています。」というふうに複雑な感情を抱かれている方もいらっしゃいました。</p> <p>先程、先生も経験されていることが、この先の先生の選択に大きく影響していくのかなというのを感じられました。</p>
<p>河野脳外科 病院 合澤看護師</p>	<p>多職種で話をしました。</p> <p>ひとくくりで「看取り」と言っても、看取りという言葉だけでも、本人は施設に入っていて看取りを希望していても、麻痺が出たんじゃないかと言って救急車で病院に来られる。そのときにどこまで治療や処置をするのだろうかという感じになるが、家族が思っている看取りと医療者が思っている看取りのズレがあったりします。</p> <p>やはり人生会議のような取り組みは大事だと感じました。</p>
<p>けいわ緩和 クリニック 稲生師長</p>	<p>人生会議の中でも、選ぶのも医療の選択と生活の中で限られた体力で何を優先するかという生活面での選択肢、二つあるなど話を聞いていて思いました。</p> <p>最後にけいわ緩和クリニック 院長 伊東より挨拶させていただきます。</p>

<p>けいわ緩和 クリニック 伊東先生</p>	<p>色々な意見が聞けて、各グループ熱を帯びてディスカッションをされていて、良い機会が持てたなと思って、感謝しています。</p> <p>人生会議、何を大事に思っているかというのは自分で考えることができます。そしてその後、いかにそれを共有するということは、今日集まっている多職種で考えていくことが大切です。</p> <p>そして僕からすると「患者さんと信頼関係をつくる」というのが大事になってくるかなと思います。どういったときに人は信頼するかというと、「自分の話を聞いてくれる人」、「自分を否定しない人」、「自分を理解しようとしてくれる人」、こういった方を信頼するのかなど。私もいつも興味を持って、話をよく聞いて昔の話をしたり、どういったことを思っているのか聞いたりしながら診療します。</p> <p>「あなたの理解者になろうとしている」ということを伝えるためにも、思いを言われたときにそれを反復してあげる、するとそれが先生に届いたんだな、と言うふうに思ってもらえるかもしれない。うまく反復を使って、その後、じっと次の言葉を待って思いを引き出す。コミュニケーションのスキルの問題になってしまうかもしれませんが、反復を使いながら思いを引き出せたらなと思って日々診療しています。</p> <p>よく訪問診療開始後に、「どこで最期を過ごすか」ということを聞き出さないといけない場面というのがどうしても多いです。本人に聞けるときは比較的是っきり聞くようにしています。自分でトイレに行けなくなったら、どこで過ごしたいですか？というのを少し信頼関係ができたタイミングで聞くようにしています。それを聞いて本人が悩む姿、本人の答えを家族にも同席してもらって、そこを一緒にプロセスを共有する、そこが重要なかなと思います。</p> <p>家族も本人と医療者だけで決めたこと、結果だけ聞かされてもなんとなく納得できなかったり、自分の思いと患者さんの思いが違うときに頑張れなくなったりします。だから、その結論、過程を共有し信頼関係を構築する。こういったことを人生会議、ACPの中で大事にしていけたらなと思います。</p> <p>信頼関係を築く上で、僕が毎日心がけているのが、患者さんや家族に穏やかに過ごしてほしい、ということ。そういった態度をするようにしていますが、人を穏やかにしようとしているときに、僕がカリカリしてワーと言うと患者さんも穏やかになれないし、僕が看護師さんにワーと言うと言われた看護師さんが今度は家族と接したときに、なかなか穏やかな気持ちで接することができない。負のスパイラルになる。</p> <p>だから一番簡単なのは、「自分が朝から穏やかに過ごす」これが僕の中で出した答え、これが人を穏やかにする上で一番簡単な方法なのかなと思って、朝から笑いながら過ごしています。</p> <p>今後もこういった機会があれば皆さまと一緒に勉強していきたいと思っています。</p>
---------------------------------	---